

## 第9回 『田の補植、園主の田植え手伝い、茄子の整枝』

と き 2013年6月1日(土) 9:30 - 17:00

ところ 田んぼ、作業小屋前のハウス横の畑、十日市場の園主の田

天 気 晴れのち曇り

参加者 石田、霧生、久保(15時まで)、坂本(12時まで)、高田裕司(12時まで)、高橋、藤田、松下、藤平親子(15時まで)、ゲスト:北原まどかさん親子、ゲスト:松岡美和さん親子、園主 計15名(子ども3人含む)

### 【午前】

・田んぼにて、先週残してあった苗を参加者全員で補植。水の中ではオタマジャクシとホウネンエビが泳いでいた。

・11時頃より女子チーム(霧生、藤田、藤平親子、北原親子)と男子チーム(石田、久保、坂本、高田、高橋、松下、松岡親子)に分かれて作業。

・女子チーム、まずは作業小屋前ハウスにて苗箱の稲にアドマイヤー箱粒剤(殺虫剤)をまく(20枚程)。次にハウス横の畑の茄子の整枝(2本仕立て)を行う。園主に手ほどきしてもらうが、なかなか判断が難しい。接ぎ木にしている野生の茄子からは茎からも葉からも鋭い棘がでており苦戦する。オレンジ色タンクに配合した液体肥料をジョウロにくみ、整枝の終わった茄子にまく。

・バスタブに水をはり、ホースを入れて水洗い。園主からいただいた軍手でこすってきれいにしたら巻取機に巻いていく。子供たちが手伝ってくれた。

・奥の納屋の清掃。園主より赤米と黒米をいただく。

・男子チームは、園主の十日市場の田(東名高速北側沿い)に行き、田んぼに浮いている藁屑を田から引き上げる作業を実施しました。この藁屑は、コンバイン(稲刈り機)で稲刈りを行った際、機械が刈り取った稲の穂の部分から、籾とその他に分け、いらぬ藁の部分の細かくカットして、機械の後ろから出したものです。田植え作業時に邪魔になるので、午前中で、まず整理しました。

### 【お昼】

・広場で各々昼食。ハンモック2はり。画眉鳥(ガビチョウ:移入生物)の声を聞く。

### 【午後】

・女子チーム、バスタブの片付けと小屋周辺の清掃。赤米、黒米の分配。

・赤米は2kgを8区画分にわけ、黒米は濡れた袋に接してカビている部分を捨て、ゴザにひろげて軽く干す。ゾウムシがわらわらと逃げ出していきました。こちらは1.5kgを12人分にわけ。(15時半終了)

・男子チームは、園主・石田チームが十日市場の田んぼに田植え機とマット苗を運んで田植え作業に取り掛かる一方、高橋・松下チームは、まず田奈農協裏の田んぼで苗の補植作業を行い、補植が終了すると、十日市場の田へ向かった。

・園主が田植え機を運転し、石田・高橋・松下チームは、平行して補植作業を進めた。十日市場の田は10面あって、ほぼ一町歩あるとのこと。7面まで、田植えが終わったところで本日の作業を終了した。その後、谷っ戸ん田に戻り、黒米・赤米を頂いて解散した。

次回の作業は2013年6月8日(土)。田の草取りの予定。

(記録:松下・藤平)